

第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国パラスポーツ大会

奈良県準備委員会

第 1 回 宿泊・衛生専門委員会

令和 8 年 1 月 2 8 日（水）

ホテルリガーレ春日野

1 階 天 平 の 間

第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国パラスポーツ大会
奈良県準備委員会 第 1 回宿泊・衛生専門委員会 資料目次

《 報告事項 》

- (1) 国民スポーツ大会・全国パラスポーツ大会概要について・・・P 3
- (2) 第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国パラスポーツ大会開催に向けた準備
経過及び会場地選定状況について・・・P 4～10
- (3) 宿泊・衛生専門委員会の概要について・・・P 11～12
- (4) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 2025 宿泊・衛生業務概要について
・・・P 13～17
- (5) 宿泊施設基礎調査業務結果概要について・・・P 18～19

《 審議事項 》

●付託事項

- (1) 第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国パラスポーツ大会
宿泊・衛生基本方針（案）・・・P 20～21

第85回国民スポーツ大会・第30回全国パラスポーツ大会

奈良県準備委員会 宿泊・衛生専門委員会 専門委員名簿(10名)

(敬称略)

分野	機関・団体名	役職	氏名	備考	
1	奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合	理事長	伊藤 隆司	委員長	
2	宿泊・観光	一般財団法人 奈良県ビジターズビューロー	事務局長	福田 純一	副委員長
3	一般社団法人 全国旅行業協会奈良県支部	支部長	中島 昭人		
4	食品・衛生	公益社団法人 奈良県食品衛生協会	会長	松井 義明	
5	一般社団法人 奈良県調理師連合会	副会長兼 事務局長	小枝 弘明		
6	公益社団法人 奈良県栄養士会	会長	松田 仁		
7	スポーツ	公益財団法人 奈良県スポーツ協会	事務局長	奥田 浩	
8	奈良県障害者スポーツ協会	事務局長	水野 博夫		
9	県	薬務・衛生課	課長	榊谷 孝	
10	観光戦略課	課長	辻 勝式		

目的	<p>広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするもの。 (「国民スポーツ大会開催基準要項」より)</p>
主催	(公財)日本スポーツ協会、文部科学省、開催地都道府県
開催期間	<p>冬季大会 12月～2月末(5日間以内) 本大会 9月中旬～10月中旬(11日間以内)</p>
実施予定競技	<p>○冬季大会 正式競技(3競技) スケート、アイスホッケー、スキー</p> <p>○正式競技(37競技)(奈良大会実施競技) 陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術(隔年実施競技)、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレー射撃、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン</p> <p>○特別競技(1競技) 高等学校野球</p> <p>○公開競技(8競技) 綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、バウンドテニス、エアロビック、スポーツチャンバラ、ダンススポーツ</p> <p>○デモンストレーションスポーツ※正式・特別・公開競技以外で、開催県が特性を生かして普及を目指す競技</p>

全国パラスポーツ大会の概要

目的	<p>障害のある選手が、障害者スポーツの全国的な祭典であるこの大会に参加し、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与することを目的とする。 (「全国障害者スポーツ大会開催基準要綱」より)</p>
主催	(公財)日本パラスポーツ協会、文部科学省、開催地都道府県
開催期間	国スポ大会終了後約1週間後に開催(3日間)
実施予定競技	<p>○正式競技 14競技(個人7競技、団体7競技)</p> <p>個人：陸上競技(身・知)、水泳(身・知)、アーチェリー(身)、卓球(身・知・精)、フライングディスク(身・知)、ボウリング(知)、ボッチャ(身)</p> <p>団体：バスケットボール(知)、車いすバスケットボール(身)、ソフトボール(知)、グランドソフトボール(身)、バレーボール(身・知・精)、サッカー(知)、フットソフトボール(知)</p> <p>○オープン競技※開催自治体で競技決定 広く障害者の間に普及する観点から有効と認められるもの。 競技例：卓球バレー、車いすテニス、車いすダンス、ブラインドテニス など</p>

**第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国パラスポーツ大会
開催準備経過**

年月日	内 容
令和 2 年 1 月 30 日	奈良県体育協会（現「奈良県スポーツ協会」）が、県、 県議会及び県教育委員会に大会招致要望書を提出
2 月 20 日	知事が両大会招致の意向を表明（定例記者会見）
3 月 25 日	県議会 2 月定例会において、「第 85 回国民スポーツ大会・ 第 30 回全国障害者スポーツ大会の招致に関する決議」を 議決
11 月 27 日	文部科学省、日本スポーツ協会、日本障がい者スポーツ協 会に開催要望書を提出
12 月 10 日	日本スポーツ協会国体委員会において、第 85 回国民スポ ーツ大会開催申請書提出順序了解県として承認
令和 3 年 1 月 14 日	日本スポーツ協会理事会において、第 85 回国民スポーツ 大会開催申請書提出県として了解（奈良県開催が内々定）
4 月 1 日	奈良県文化・教育・くらし創造部スポーツ振興課に国民ス ポーツ大会・全国障害者スポーツ大会準備室を設置
11 月 24 日	第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国障害者スポーツ大 会奈良県準備委員会設立総会、第 1 回総会及び第 1 回常任 委員会を開催
令和 4 年 8 月 22 日	奈良県準備委員会第 2 回常任委員会及び第 2 回総会を開催
令和 5 年 8 月 31 日	奈良県準備委員会第 3 回常任委員会及び第 3 回総会を開催
令和 6 年 8 月 7 日	奈良県準備委員会第 4 回常任委員会及び第 4 回総会を開催
令和 7 年 3 月 26 日	奈良県準備委員会第 5 回常任委員会を開催
8 月 5 日	奈良県準備委員会第 6 回常任委員会及び第 5 回総会を開催 第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国パラスポーツ 大会奈良県準備委員会に改称
令和 8 年 6 月（予定）	開催申請書の提出（開催内定）
令和 10 年（予定）	開催決定
令和 13 年（予定）	第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国パラスポーツ大会 開催

第85回国民スポーツ大会・第30回全国パラスポーツ大会 開催基本構想 概要

令和7(2025)年8月5日
第6回 常任委員会 決定

○策定の趣旨

開催基本構想は、奈良県が目指す大会の姿を明らかにし、県、市町村、競技団体、関係団体・機関、学校、企業など様々な主体が連携協力して、大会開催及び開催準備に取り組む指針として示すものです。

○目指す大会の姿

国民スポーツ大会・全国パラスポーツ大会を一過性の競技会やイベントとして捉えるのではなく、スポーツをしたいた人が快適にスポーツに親しめる環境を整えることを大会のレガシーとして位置づけ、スポーツを支える体制や仕組みを次世代へと継承します。

大会をきっかけとして、スポーツを「する」「観る」「支える」といった行動が定着し、健康的な生活や心身の豊かさをもたらすことで、社会全体として持続可能な幸せ「ウェルビーイング (well-being)」を実現することが目標です。

1. 未来をつくる大会

新しい大会をつくることで、県民や地域社会、次世代のための未来をつくります。

「未来をつくる大会」と「スポーツとつながる大会」という2つの姿を実現するための取り組みを展開していきます。

2. スポーツとつながる大会

この大会を通じて、スポーツを中心としたつながりを生み出し、次世代へとスポーツの価値を引き継ぎます。

コンパクトな、新たな大会

- ・ 開・閉会式の全体時間を短縮することで参加選手のコンドーションに配慮する等、新しい大会運営の方法を模索し、全体の質を維持しつつ満足度の高い大会を目指します。
- ・ 既存の施設を最大限活用し、整備・改修が必要な場合でも将来にわたって施設が果たす役割と財政負担とのバランスを考慮した施設整備を推進します。

連携・協働でつくる大会

- ・ 県、市町村、競技団体、関係団体・機関などの様々な主体が連携協力して大会に関わり、大会の成功に貢献します。

共生社会をつくる

- ・ ユニバーサルデザインの視点に立った大会づくりを目指します。
- ・ 全国パラスポーツ大会を契機に、心のバリアフリーを進め、障害者スポーツへの理解を促進します。

「する」「観る」「支える」でスポーツとつながる

- ・ スポーツを応援することの楽しさを感じ、選手の活躍に感動や憧れを抱くことで、スポーツへの関心を高めることを目指します。
- ・ 大会を契機に、県民一人ひとりが運動や身体活動への意欲を高め、スポーツ活動が継続的に行われることを目指します。
- ・ 大会の運営を支えるボランティアの募集・養成を行います。

アスリートとスポーツを支える人材をつなぐ

- ・ 多様な主体と連携した次世代アスリートの発掘や育成、強化支援を推進します。
- ・ 指導者や競技役員等の競技を支える人材の確保と養成を促進します。

地域とスポーツがつながる

- ・ 各地で実施された競技がそれぞれの地域に定着することにより、活力ある地域づくりにつながります。
- ・ 大会に訪れる人々に対し奈良県の魅力を発信し、大会後の再訪につながることで地域経済を活性化します。

第85回国民スポーツ大会競技会場地市町村選定状況一覧

R7. 8. 5現在

※開催予定施設の（ ）書きの数字は選定された試合場（面）数

※選定状況欄の（ ）書きの数字は、今後選定する試合場（面）数/全選定数

No.	競技	種目	種別	市町村名	開催予定施設	選定状況
1	陸上競技		全種別	奈良市	ロートフィールド奈良	4次
2	水泳	競泳	全種別	大和郡山市	スイムピア奈良	2次
		水球	少年男子 女子			
		飛込	全種別			調整中
		アーティスティック スイミング	少年女子			
		オープンウォーター スイミング	男子 女子			
3	サッカー		成年男子 少年男子 少年女子	葛城市	新庄第一健民運動場（1）	1次
				奈良市	ロートフィールド奈良（主競技場・補助競技場）（2）	2次
				橿原市	県立橿原公苑陸上競技場（1）	
					ヤタガラスフィールド橿原（1）	
				御所市	御所市民運動公園（1）	
				田原本町	奈良県フットボールセンター（1）	
						調整中 (天然芝1以上)
4	テニス		全種別	橿原市	橿原運動公園テニスコート	3次
				明日香村	県立橿原公苑明日香庭球場	3次
5	ローイング		全種別			調整中
6	ホッケー		全種別			調整中 (2/2)
7	ボクシング		成年男子 少年男子 成年女子	奈良市	ロートアリーナ奈良	2次
8	バレーボール	6人制	成年男子	平群町	平群町総合スポーツセンター（1）	2次
			成年女子	葛城市	當麻スポーツセンター総合体育館（1）	3次
			少年男子	田原本町	田原本町中央体育館（2）	2次
			少年女子	香芝市	香芝市総合体育館（2）	1次
		ビーチバレー ボール	少年男子 少年女子	十津川村	(仮称)十津川村ビーチバレーボール特設会場	2次
9	体操	競技	全種別	橿原市	(仮称) 県立新アリーナ	3次
		新体操	少年男子 少年女子	橿原市	(仮称) 県立新アリーナ	3次
		トランポリン	男子 女子	大和郡山市	大和郡山市総合公園施設多目的体育館	2次
10	バスケットボール		全種別	橿原市	(仮称) 県立新アリーナ	3次
				橿原市	(仮称) 橿原運動公園体育館	3次
				宇陀市	宇陀市総合体育館（2）	2次
				五條市	ベストラインシダーアリーナ（2）	3次

※開催予定施設の（ ）書きの数字は選定された試合場（面）数
 ※選定状況欄の（ ）書きの数字は、今後選定する試合場（面）数/全選定数

No.	競技	種目	種別	市町村名	開催予定施設	選定状況
11	レスリング		成年男子 少年男子 女子	生駒市	生駒市体育協会滝寺S.C. 体育館	1次
12	セーリング		全種別			調整中
13	ウエイトリフティング		成年男子 少年男子 女子	宇陀市	宇陀市総合体育館	1次
14	ハンドボール		全種別	生駒市	生駒市体育協会総合S.C. 体育館 (1)	1次
					生駒市体育協会滝寺S.C. 体育館 (1)	
						調整中 (3/5)
15	自転車	トラック	男子A 男子B 女子	奈良市	奈良県営競輪場	2次
		ロード		宇陀市	宇陀市特設ロードレースコース	
16	ソフトテニス		全種別	大和高田市	県立橿原公苑明日香庭球場（明日香村）	3次
17	卓球		全種別	桜井市	芝運動公園総合体育館	2次
18	軟式野球		成年男子	橿原市	橿原運動公園硬式野球場(1)	3次
					さとやくスタジアム(1)	3次
				奈良市	ロートスタジアム奈良 (1)	1次
				大和郡山市	ならっきー球場 (1)	1次
				五條市	ベストラインスタジアム (1)	2次
19	相撲		成年男子 少年男子	葛城市	葛城市民体育館	1次
20	馬術		成年男子 成年女子 少年			調整中
21	フェンシング		全種別	斑鳩町	すこやか斑鳩・スポーツセンター中央体育館	2次
22	柔道		成年男子 少年男子 女子	橿原市	(仮称) 県立新アリーナ	3次
23	ソフトボール		成年男子	広陵町	広陵健民運動場 (1)	2次
				三宅町	三宅健民運動場 (1)	2次
			成年女子	桜井市	芝運動公園運動場 (2)	1次
			少年男子	三郷町	三郷中央公園多目的広場 (1)	2次
				王寺町	王寺健民運動場 (1)	2次
			少年女子	広陵町	第二浄化センターグラウンド (2)	2次
24	バドミントン		全種別	橿原市	(仮称) 橿原運動公園体育館	3次
25	弓道		全種別	橿原市	県立弓道場	3次
26	ライフル射撃	C P	成年男子	奈良市	奈良県警察学校射撃場	2次
		C P以外	全種別			調整中

※開催予定施設の（ ）書きの数字は選定された試合場（面）数
 ※選定状況欄の（ ）書きの数字は、今後選定する試合場（面）数/全選定数

No.	競技	種目	種別	市町村名	開催予定施設	選定状況
27	剣道		全種別	奈良市	ロートアリーナ奈良	1次
28	ラグビーフットボール		成年男子	御所市	御所市民運動公園	2次
			少年男子	天理市	天理親里ラグビー場	
				御所市	御所市民運動公園	
			女子	天理市	天理親里ラグビー場	
29	スポーツクライミング	全種別	香芝市	(仮称)香芝市スポーツクライミング会場	2次	
30	カヌー	スプリント	全種別	吉野町	(仮称)津風呂湖特設カヌー会場	3次
		スラローム	成年男子 成年女子			調整中
		ワイルドウォーター	成年男子 成年女子			
31	アーチェリー	全種別	奈良市	ロートフィールド奈良	2次	
32	空手道	全種別	香芝市	香芝市総合体育館	3次	
33	銃剣道	成年男子 少年男子	下市町	下市中央公園総合体育館	2次	
34	クレール射撃	成年			調整中	
35	ボウリング	全種別	大和高田市	オプトボウルタカダ	1次	
36	ゴルフ	成年男子	奈良市	奈良国際ゴルフ倶楽部(1)	1次	
		少年男子	奈良市	奈良柳生カントリークラブ(1)	4次	
		女子	大淀町	花吉野カントリー倶楽部(1)	2次	
37	トライアスロン	成年男子 成年女子	天理市	(仮称)白川ダム特設トライアスロン会場	4次	
38	高等学校野球	軟式		奈良市	ロートスタジアム奈良	1次
		硬式		橿原市	さとやくスタジアム	2次

	競技数	種目数	試合場(面)数	市町村数	すべての競技(種目)の会場地が選定された競技数(実数)
第1次選定(R5.8.31)	12	12	16	8	第1次選定(R5.8.31) 5
第2次選定(R6.8.7)	18	21	35	19	第2次選定(R6.8.7) 10
第3次選定(R7.3.26)	11	12	18	7	第3次選定(R7.3.26) 10
第4次選定(R7.8.5)	3	3	3	2	第4次選定(R7.8.5) 3
調整中	10	13	15	—	

※複数種目からなる競技については、一部の種目における競技会場地市町村が選定された場合でも1競技(種目)としてカウントしている。
 ※市町村数は、実数ではなく、第1次・第2次・第3次・第4次選定ごとに該当する数を記載している。

(参考)

	競技数	種目数	試合場(面)数
必要数(実数)	38	50	87
選定数(第1次～第4次の計)	28	37	72
選定率	74%	74%	83%

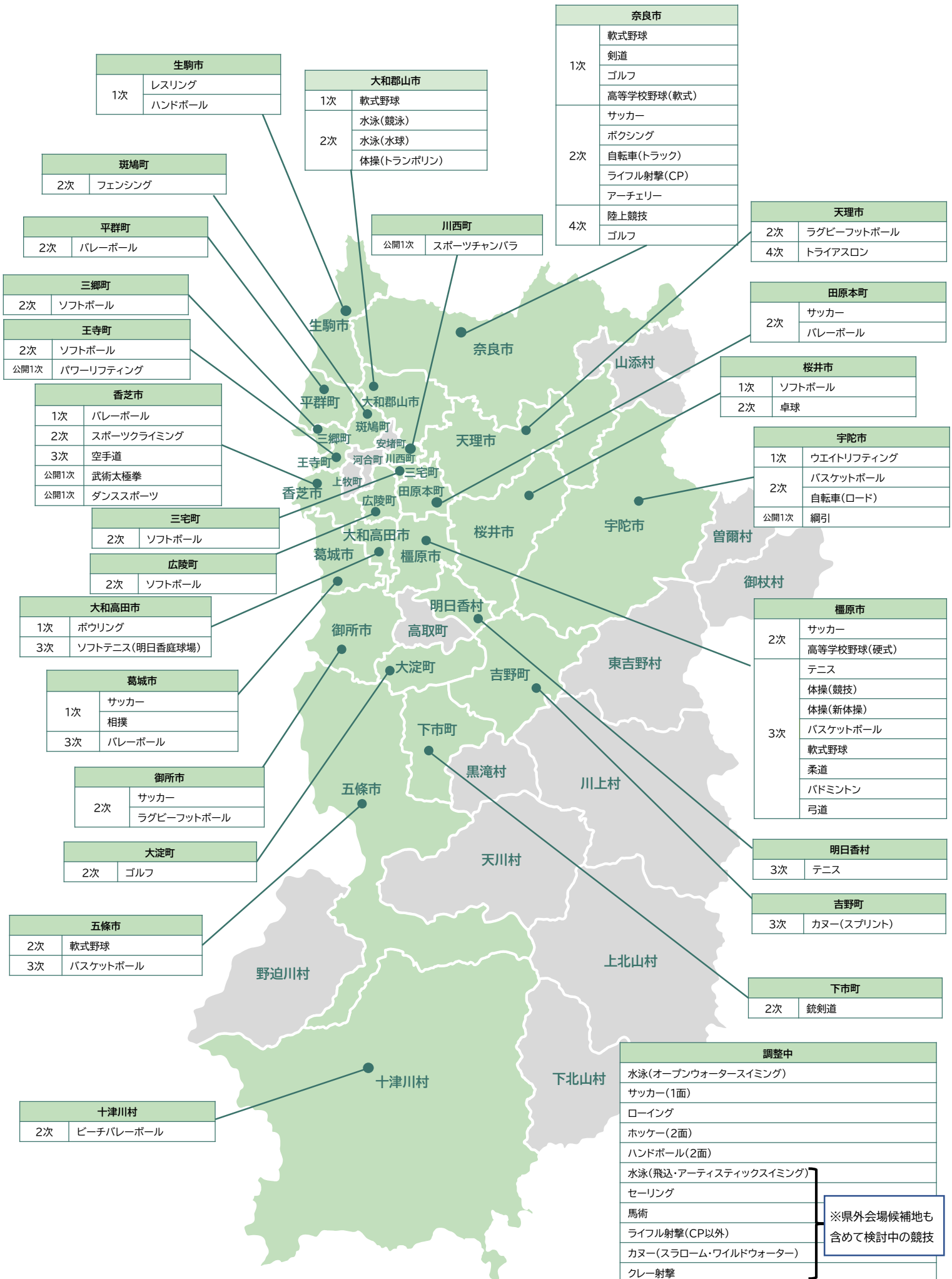
【 競 技 別 】

No.	競技	種別	市町村名	開催予定施設
1	綱引	全種別	宇陀市	宇陀市総合体育館
2	武術太極拳	全種別	香芝市	香芝市総合体育館
3	パワーリフティング	全種別	王寺町	王寺アリーナ
4	スポーツチャンバラ	全種別	川西町	川西町中央体育館
5	ダンススポーツ	全種別	香芝市	香芝市総合体育館

【 市 町 村 別 】

No.	市町村名	競技	種別	開催予定施設
1	香芝市	武術太極拳	全種別	香芝市総合体育館
2		ダンススポーツ	全種別	
3	宇陀市	綱引	全種別	宇陀市総合体育館
4	川西町	スポーツチャンバラ	全種別	川西町中央体育館
5	王寺町	パワーリフティング	全種別	王寺アリーナ

競技会場地選定の状況(国スポ 正式競技・特別競技・公開競技) R7.8.5現在

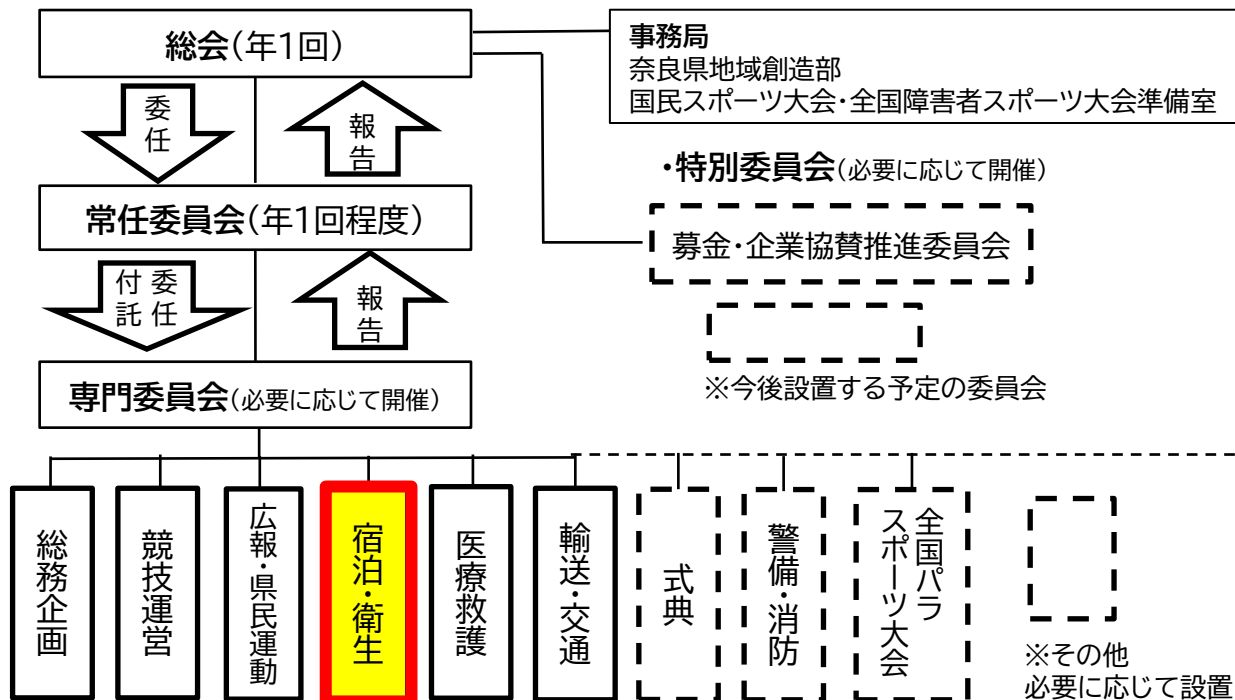


1 目的

第85回国民スポーツ大会・第30回全国パラスポーツ大会に係る大会参加者(選手・監督・役員等)の宿泊に関することや食事、食品・環境衛生対策等に関する方策等を専門的知見から検討、審議等を行うため、宿泊・衛生専門委員会を設置する。

2 根拠及び宿泊・衛生専門委員会の付託、委任事項

第85回国民スポーツ大会・第30回全国パラスポーツ大会奈良県準備委員会専門委員会規程(令和6年8月7日第4回常任委員会で決定)により設置。



付託事項	1 宿泊及び衛生の基本的事項に関すること。 2 その他宿泊及び衛生に係る重要な事項に関すること。
委任事項	1 宿泊業務に関すること。 2 食事等に関すること。 3 食品衛生及び環境衛生に関すること。 4 その他宿泊及び衛生に関すること。

会則第13条第2項(専門委員会の付託・委任)
 専門委員会規程第2条(委員会の種類、常任委員会からの付託・委任)より

3 主な審議事項

(1) 宿泊

選手・監督・役員等の宿舍の確保や配宿の実施に関する事項を検討し、審議を行う。

(2) 食事

大会参加者に対し、安全・安心で栄養素のバランスがよい、食事の提供ができるように検討し、審議を行う。

(3) 衛生

大会参加者が清潔な環境下で大会期間中を過ごせるための体制・環境づくりについて検討し、審議を行う。

宿泊・衛生専門委員会の主な審議事項のスケジュール（案）

年度		宿泊	食事	衛生	
2025年 (R7)	6年前	基礎調査			
		第1回 専門委員会 立ち上げ			
		宿泊・衛生基本方針			
2026年 (R8)	5年前	宿泊・衛生基本計画			
2027年 (R9)	4年前	宿泊施設充足 対策要項	食事提供 方針	食品衛生 対策要項	
				環境衛生 対策要項	
2028年 (R10)	3年前	仮 配 宿	配宿実施方針	弁当調製 施設調査	
			宿泊料金 調査	宿泊料金・弁当料金（本県案）	食品衛生対策 実施要領
2029年 (R11)	2年前		宿泊料金・弁当料金 JSPO決定	宿舍衛生対策 実施要領	
			宿泊要項	弁当調達 要項	
2030年 (R12)	1年前		宿泊要項 JSPO承認	食品衛生講習会	
				弁当献立 決定	
		国スポ正式競技 リハーサル大会（プレ大会）			
2031年 (開催年)		全スポ リハーサル大会（プレ大会）			
		本配宿	弁当調達		
		宿泊本部設置			
		第85回国民スポーツ大会・第30回全国パラスポーツ大会 開催			

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025 宿泊・衛生業務概要について

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025 宿泊・衛生業務概要について①

国民スポーツ大会

【大会日程】

会期前①	2025年9月6日(土)～9月15日(月)
会期前②	2025年9月21日(日)～9月25日(木)
本会期	2025年9月28日(日)～10月8日(水)

【来場者数】

総合開会式	約 1.5 万人	} 延べ 約 <u>60.2 万人</u>
総合閉会式	約 1.0 万人	
競技会	約 57.7 万人	



全国障害者スポーツ大会

【大会日程】

会期	2025年10月25日(土)～10月27日(月)
----	--------------------------

【来場者数】

開会式	約 1.4 万人	} 延べ 約 <u>8.2 万人</u>
閉会式	約 1.5 万人	
競技会	約 5.3 万人	



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025 宿泊・衛生業務概要について②

国スポ 宿泊申込者数(速報値)

【選手団】	選手監督	競技役員	競技会役員	合計
会期前①	13,036	1,432	209	14,677
会期前②	3,049	344	0	3,393
本会期	110,872	8,145	2,458	121,475
合計	126,957	9,921	2,667	139,545

【選手団以外】	都道府県本部役員	視察員	大会役員	特別招待者	報道員	その他大会関係者	合計
会期前①	899	6	38	0	30	110	1,083
会期前②	311	0	30	0	12	21	374
本会期	5,698	114	345	255	254	1,001	7,667
合計	6,908	120	413	255	296	1,132	9,124

選手団	選手団以外	合計
139,545	9,124	148,669

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025 宿泊・衛生業務概要について③

障スポ 宿泊申込者数(速報値)

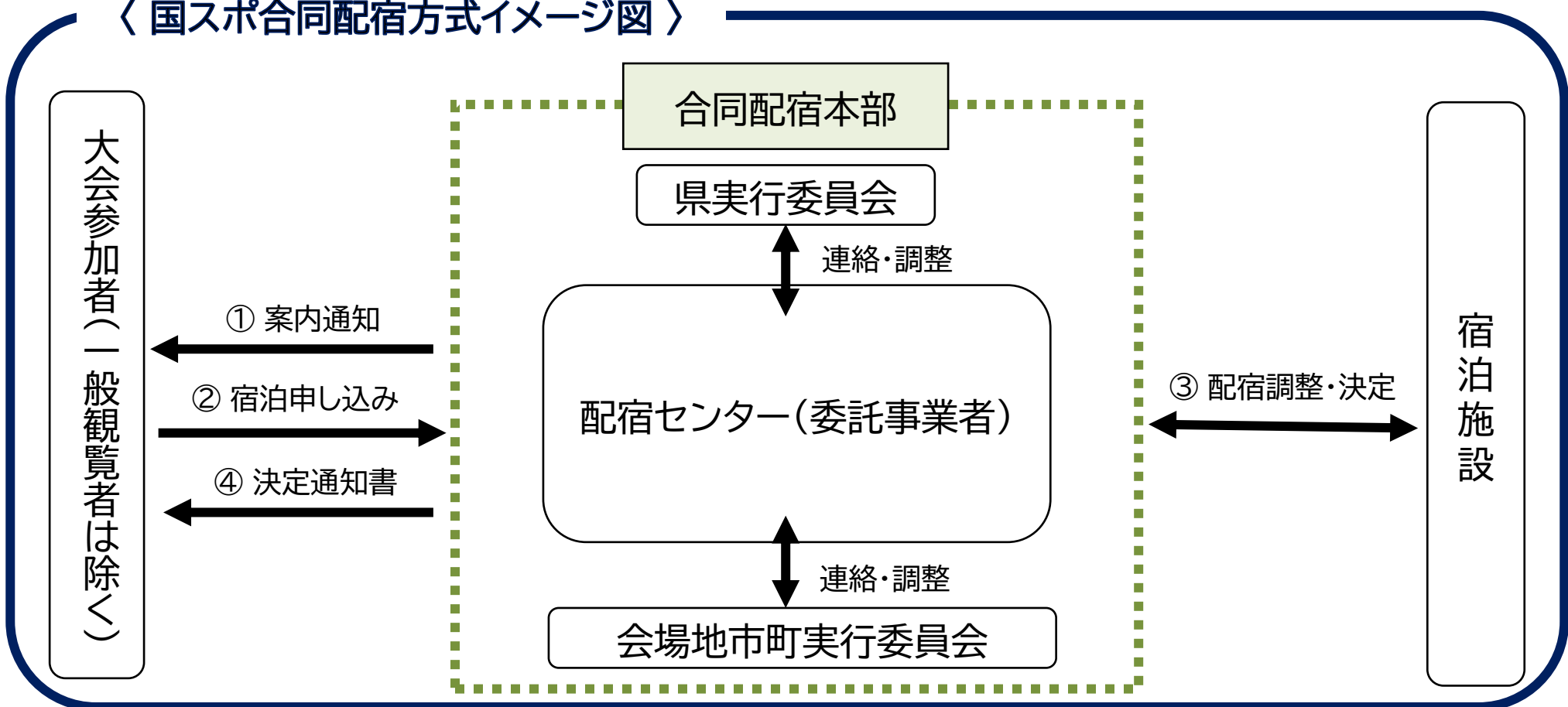
区分	10/23 (木)	10/24 (金)	10/25 (土)	10/26 (日)	10/27 (月)	合計
選手団 (個人)	3,913	4,663	4,662	4,643	4,006	21,887
選手団 (団体)	1,099	1,331	1,332	1,265	888	5,915
選手団計	5,012	5,994	5,994	5,908	4,894	27,802
選手団以外	87	429	409	220	39	1,184
合計	5,099	6,423	6,403	6,128	4,933	28,986

合同配宿

合同配宿本部 = 県実行委員会 + 会場地市町実行委員会 + 配宿センター(委託事業者)

一元的に宿舍情報を管理し、一括して配宿を実施。

〈 国スポ合同配宿方式イメージ図 〉



宿泊料金

① 1泊2食 (500円刻み)	② 1泊朝食 (①の80%相当額)	③ 素泊まり (①の70%相当額)
2,500円~18,000円	2,000円~14,400円	1,750円~12,600円

欠食控除

朝食欠食	夕食欠食
宿泊料金から10%控除	宿泊料金から20%控除

※朝食・夕食ともに4日前までに申し出た場合に限り適用。

ただし、競技進行状況により、やむを得ず夕食の欠食を申し出る場合は、宿舍と協議の上決定。

宿泊取消料

大会参加の取り消しや競技敗退等、やむを得ない理由により宿泊を取り消した場合は、**各宿泊施設の宿泊取消料規定を適用。**

なお、宿泊取消料規定の上限は下表のとおり

宿泊取消の申出区分	宿泊取消料
宿泊予定日の9日前まで	不要
宿泊予定日の8日前から4日前まで	宿泊料金の20%
宿泊予定日の3日前から前日まで	宿泊料金の50%
宿泊予定日当日	宿泊料金の100%

(注) ・荒天等による交通機関の不通で、宿舍への到着が困難な場合は、宿舍と協議して取消料を決定。

- ・入宿前後に関わらず、災害等(地震、風水害、感染症等)により、競技会(種目・種別)が中止となった場合、荒天等による競技会会期の短縮決定により、宿泊取消を申し出た場合は、取り消した泊数に関わらず、一人につき1泊分の取消料のみ。

団体競技(トーナメント)での負け帰り対策

下記対象団体競技において、対戦相手との同宿や宿替えを含めた配宿を行い、勝ち残りのみの客室確保を行うことで、負け帰りによる客室ロスを削減。

〈対象競技〉

水泳(水球)、サッカー、ホッケー、バレーボール(6人制)、バスケットボール、ハンドボール、軟式野球、ソフトボール、ラグビーフットボール、高等学校野球(硬式・軟式)

〈例〉

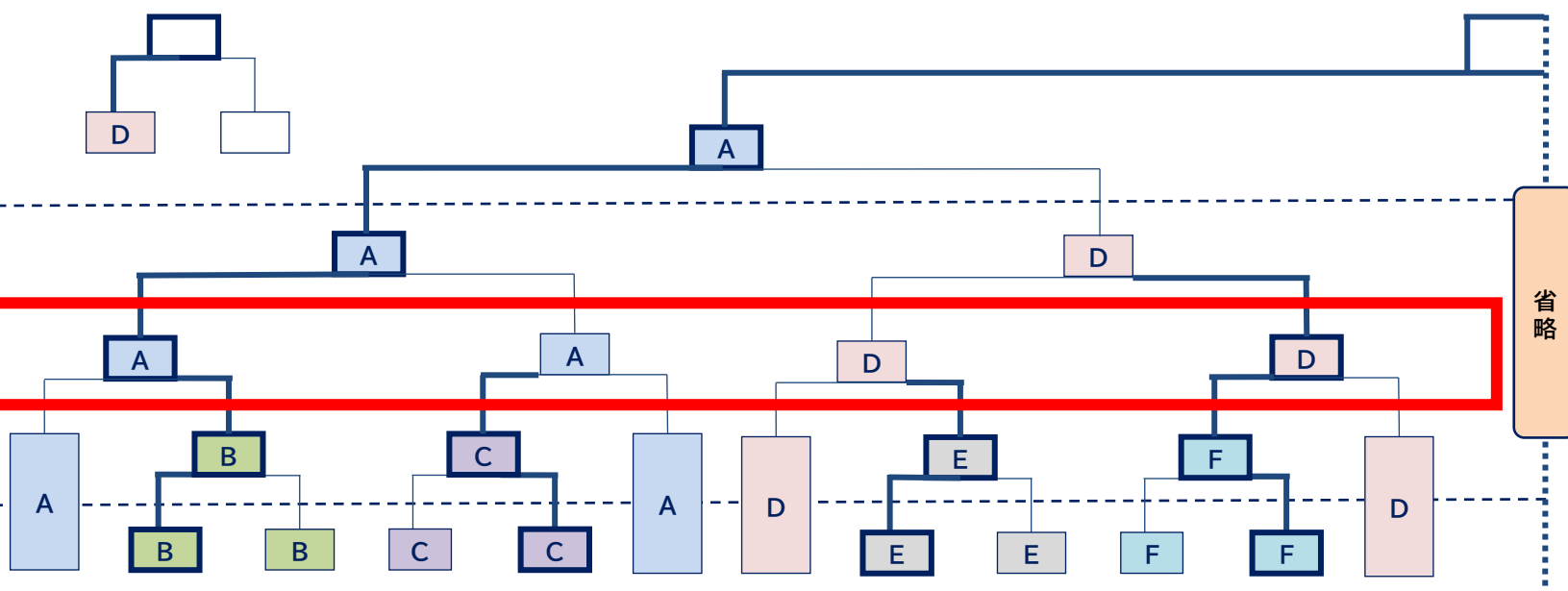
決勝・
3位決定戦

準決勝

準々決勝

2回戦

1回戦



A~F : 宿泊施設 ※宿泊施設B・C・E・Fに宿泊したチームは準々決勝で宿替えが発生する。

標準献立の作成

参加する選手等が最良のコンディションで活躍できるよう、栄養面や衛生面を考慮し、かつ、滋賀県らしさを盛り込んだ食事を宿泊施設で提供できるよう本委員会で標準献立を作成。

式典弁当

「県民の健康長寿を育んできた琵琶湖の恵みと豊かな食文化を味わい、心身のリズムを整える」をコンセプトとした、県産食材や郷土料理を盛り込んだメニュー。



衛生業務

大会参加者に弁当を提供する「弁当引換所」及び「出店ブース」の衛生管理状況をチェックし、食品の安全を確保するとともに、食中毒等の問題発生時に速やかに対応。



第85回国民スポーツ大会・第30回全国パラスポーツ大会
宿泊施設基礎調査結果について

1. 調査目的

大会参加者の円滑な配宿に向け、宿舎として使用可能な営業宿泊施設の実態把握と、大会の開催を周知し、客室の提供について協力依頼することを目的に実施。

2. 調査対象施設

- (1) 県内宿泊施設：風紀上、衛生上、安全対策上支障がなく、大会参加者の利用に適した施設。
(2) 県外宿泊施設：各競技会場地からの所要時間が60分以内で協力が得られる見込みのある施設。

3. 調査内容

- (1) 施設区分、客室形態及び客室数、宿泊料金、会議室、食事提供の有無、バリアフリー状況等
(2) 国スポ・全スポ期間の客室提供の意向(提供可の場合の収容人数)

4. 調査期間

令和7年9月～12月

5. 調査結果

(1) 県内

市町村名	①調査対象 宿泊施設数	②調査票 回収施設数	回収率 (②/①%)	③総収容 可能人数	④国スポ 提供可能人数	提供率 (④/③%)	⑤全スポ 提供可能人数	提供率 (⑤/③%)
奈良市	188	77	41%	6,976	3,461	50%	3,018	43%
大和高田市	6	3	50%	18	8	44%	8	44%
大和郡山市	7	3	43%	403	181	45%	175	43%
天理市	9	8	89%	1,326	478	36%	478	36%
橿原市	16	9	56%	779	252	32%	236	30%
桜井市	19	13	68%	763	486	64%	248	33%
五條市	19	10	53%	144	135	94%	123	85%
御所市	3	0	0%	0	0	0%	0	0%
生駒市	16	6	38%	226	144	64%	111	49%
香芝市	1	1	100%	4	4	100%	4	100%
葛城市	2	2	100%	0	0	0%	0	0%
宇陀市	21	7	33%	256	90	35%	78	30%
山添村	4	0	0%	0	0	0%	0	0%
平群町	6	5	83%	321	94	29%	0	0%
三郷町	6	4	67%	369	243	66%	243	66%
斑鳩町	3	0	0%	0	0	0%	0	0%
安堵町	1	1	100%	12	0	0%	0	0%
川西町	0	0	0%	0	0	0%	0	0%
三宅町	1	1	100%	3	3	100%	3	100%
田原本町	1	1	100%	22	0	0%	0	0%
曾爾村	10	3	30%	43	12	28%	0	0%
御杖村	7	4	57%	84	84	100%	20	24%
高取町	0	0	0%	0	0	0%	0	0%
明日香村	19	12	63%	136	113	83%	104	76%
上牧町	1	0	0%	0	0	0%	0	0%
王寺町	1	1	100%	232	69	30%	69	30%
広陵町	0	0	0%	0	0	0%	0	0%
河合町	1	0	0%	0	0	0%	0	0%
吉野町	39	26	67%	878	652	74%	468	53%
大淀町	3	2	67%	28	14	50%	0	0%
下市町	7	6	86%	108	42	39%	34	31%
黒滝村	6	5	83%	173	111	64%	46	27%
天川村	72	31	43%	836	494	59%	350	42%
野迫川村	9	6	67%	172	127	74%	127	74%
十津川村	30	9	30%	218	55	25%	40	18%
下北山村	14	10	71%	330	99	30%	85	26%
上北山村	6	4	67%	68	52	76%	52	76%
川上村	9	5	56%	137	93	68%	93	68%
東吉野村	12	5	42%	112	69	62%	69	62%
計	575	280	49%	15,177	7,665	51%	6,282	41%

(2) 県外

県名	市町村名	①調査対象 宿泊施設数	②調査票 回収施設数	回収率 (②/①%)	③総収容 可能人数	④国スポ 提供可能人数	提供率 (④/③%)	⑤全スポ 提供可能人数	提供率 (⑤/③%)
大阪府	大阪市	220	99	45%	31,187	6,942	22%	6,621	21%
	堺市	13	10	77%	2,511	732	29%	696	28%
	東大阪市	5	5	100%	1,021	431	42%	431	42%
	守口市	1	1	100%	306	90	29%	90	29%
	富田林市	1	1	100%	170	135	79%	0	0%
	枚方市	1	1	100%	364	291	80%	182	50%
	門真市	1	0	0%	0	0	0%	0	0%
	小計	242	117	48%	35,559	8,621	24%	8,020	23%
京都府	京都市	103	68	66%	17,695	3,687	21%	3,011	17%
	久御山町	1	1	100%	246	196	80%	196	80%
	宇治市	1	0	0%	0	0	0%	0	0%
	精華町	1	1	100%	120	120	100%	120	100%
	小計	106	70	66%	18,061	4,003	22%	3,327	18%
和歌山県	紀の川市	1	1	100%	353	176	50%	176	50%
	橋本市	1	1	100%	155	77	50%	77	50%
	田辺市	9	2	22%	294	119	40%	119	40%
	高野町	46	21	46%	926	313	34%	133	14%
	小計	57	25	44%	1,728	685	40%	505	29%
三重県	伊賀市	5	5	100%	814	476	58%	476	58%
	名張市	4	3	75%	409	174	43%	145	35%
	小計	9	8	89%	1,223	650	53%	621	51%
計		414	220	53%	56,571	13,959	25%	12,473	22%

6. 課題および今後の対応策

- ◆ 県内宿泊施設の調査票回収率が49%と低く、また、調査票回収施設のうち国スポ提供可能人数の割合においては51%、全スポ提供可能人数の割合においても41%と低かった。
- ◆ 今回の調査結果から、国民スポーツ大会の開催(2031年)まで5年以上の期間があること、また会期・参加者数・宿泊料金などが未確定であることから、施設側の判断材料が乏しく、提供割合が低くなったと考えられる。また、インバウンド需要の影響により、提供数が抑制されている可能性も示唆される。
- ◆ 今後は、提供施設数および提供割合の増加に向けて、両大会の開催周知や協力依頼の強化、さらなる宿泊施設の掘り起こしが必要である。
- ◆ 併せて、競技日程を分散させることで、1日当たりの最大宿泊予定人数を平準化し、収容負荷を軽減することも重要である。

第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国パラスポーツ大会 宿泊・衛生基本方針（案）

第 85 回国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）・第 30 回全国パラスポーツ大会（以下「全スポ」という。）に参加する選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他の関係者（以下「参加者」という。）の宿泊、食事の提供及び衛生対策については、「第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国パラスポーツ大会開催基本構想」を踏まえ、国スポ及び全スポの参加者等が清潔で快適な環境のもとで十分な活躍や観覧ができるよう、次の方針に基づき行うものとする。

1. 宿 舎

- (1) 参加者の宿舎は、原則として、会場地市町村内の旅館等（旅館業法の許可を受けて営業を行う旅館、ホテル及び簡易宿所をいう。以下同じ。）を利用する。
- (2) 会場地市町村内の旅館等で参加者の収容が困難な場合は、その地域の実情に応じ、関係機関・団体等と協議の上、その他施設及び近隣市町村の旅館等を利用する。
- (3) 風紀上、衛生上、安全対策上等の理由により、支障があると認められる施設は宿舎として利用しない。

2. 配 宿

- (1) 国スポ参加者の配宿については、県と会場地市町村が協議して行う。全スポ参加者の配宿については、県が行う。
- (2) 参加者の配宿は、以下のことに考慮して行う。
 - ① 選手・監督の宿舎は、都道府県別、競技別、競技種別、男女別を考慮して配宿する。
 - ② 選手・監督等の宿舎は、競技会場及び練習会場までの交通状況を考慮して配宿する。
 - ③ 役員、視察員、報道員等の宿舎は、原則として、選手・監督の宿舎とは別にする。
 - ④ 全スポ参加者にとって、利用しやすい宿舎に配宿するよう努める。

3. 宿泊料金

国スポ参加者の宿泊料金は、県及び旅館等の関係団体と協議の上、公益財団法人日本スポーツ協会において決定する。

全スポ参加者の宿泊料金は、国スポ宿泊料金を基本とし、県が決定する。

4. 食 事

参加者に提供する食事は、安全・安心で栄養のバランスがよいものとする。また、豊かな自然に恵まれた奈良県の食材を取り入れた郷土色豊かなものを提供するよう努める。

5. 食品衛生

参加者等の食の安全・安心を確保するため、関係機関・団体等の協力を得て、食品関係施設等の衛生管理体制を整えるとともに、食品衛生に関する知識の普及及び意識の一層の啓発を図る。

6. 環境衛生

参加者等に清潔で快適な環境を提供するため、関係機関・団体等のもとより、広く県民の協力を得て、宿舍の衛生対策、各会場及びその周辺環境の美化、廃棄物の適正処理・発生抑制・リサイクルの推進等に努めるとともに、環境衛生に関する知識の普及及び意識の一層の啓発を図る。